

磐梯山登山道の利用状況

【目的】 磐梯山における登山道の状況を自然保護と整備箇所、及び危険箇所の観点から観測する

【結果】

自然保護

- (1) 黄金清水付近の踏み込み箇所
- (2) お花畑付近の踏み込み箇所
- (3) 弘法清水小屋横のトイレ

整備箇所

- (1) 渋谷登山口の看板倒れ
- (2) 翁島登山口の看板倒れ
- (3) 川上登山口(上)看板倒れ
- (4) 川上登山口(下)看板倒れ

危険箇所

- (1) 翁島登山口・大岩転落防止対策
- (2) 川上口への途中の岩くずれ
- (3) 磐梯山火口周辺、強風時の転落注意
- (4) 川口・裏磐梯コースでの土石流の沢
- (5) 弘法清水横広場 風雨による荒地の拡大
- (6) 川上コース火口の登山道の見落とし
- (7) 猪苗代お馬返し（スキー場上）の登山道の見落とし

【考察】

磐梯山には毎年3万人以上の多くの登山者が訪れる。

このため、登山者の安全、植生の保護、地形の変化などの観点から継続的なモニタリングが必要であると思われる。

1. 登山者の安全を確保観点からの標識を含む登山道の状態
2. 踏み込みなどによる植物の状態と立ち入り禁止柵や標識の見直しの観点からのモニタリング
3. 火口壁及び火口の地形の変化と植生の変化の推移

【概要】

- (1) 期日 平成22年5月16日
平成22年6月1日
平成22年7月10日
平成22年7月28日
平成22年8月20日
平成22年8月24日
平成22年10月19日

- (2) 調査者 江花俊和（猪苗代山岳会 会長）

自然保護


NO	黄金清水付近の踏み込み	実施日	平成22年6月1日	備考
1		天候	晴れ	
内容	黄金清水の周辺にはミヤマキンバイが群生しているが、登山道が複線化しており清水の下方はそれらが踏まれている			
2	お花畑付近の踏み込み 	実施日	平成22年10月19日	備考
天候	曇り～晴れ	内容	立ち入り禁止となっているが踏み込みが多い 先端に行って展望するためと思われる	
3	弘法清水小屋横のトイレ 			実施日
天候	晴れ	内容	小屋に向かって左側の藪の中がトイレになっており、汚れがひどい	

整備箇所

NO	整備箇所	実施日	実施日	備考
1		天候	晴れ	
内容	林道通行止めから、登山道に入る箇所の柱が朽ちて倒れている			
2		実施日	平成22年7月10日	備考
天候	曇り	内容	登山道から林道(スキー場管理道)に入る箇所の案内看板の柱が朽ちて傾いている	
3		実施日	平成22年10月19日	備考
天候	曇り~晴れ	内容	川上からの上コースと下コースの合流する箇所 上コースと下コースを示す案内板の柱が朽ちて倒れている	
4		実施日	平成22年10月19日	備考
天候	曇り~晴れ	内容	同上	

危険箇所

NO	危険箇所	実施日	実施日	備考
1		天候	平成22年7月28日	備考
		内容	<p>晴れ</p> <p>ゴンドラ終点から約1時間、賽の河原から10分ほどの箇所 2m位の大きな石がずれ動いているので要注意 危険の表示とロープが設置してある</p>	
2	<p>火口・川上口の途中の岩くずれ</p> 	実施日	平成22年8月20日	備考
		天候	晴れ	
		内容	<p>直接危険はないと思われるが、櫛ヶ峰の山腹から継続的に岩石の崩壊の落下が見られる</p>	
3	<p>川上・裏磐梯コースの火口縁注意</p> 	実施日	平成22年10月19日	備考
		天候	曇り～晴れ	
		内容	<p>片側が急端な火口壁のため、転落に注意 風が強い地形なので強風時には特に注意を要する</p>	
4	<p>川口・裏磐梯コースの火口の土石流の沢</p> 	実施日	平成22年8月20日	備考
		天候	晴れ	
		内容	<p>迂回コースができているが、雪解けや降雨の季節、雨の日には注意を要する</p>	

N0	弘法清水横広場、荒地の拡大	実施日	平成22年8月24日	備考
5		天候	晴れ	
		内容	地質・地形、雨や登山道の踏み込みによるものと思われるが裸地状態になっている 今後の推移を見守る必要がある	
6	川上コース火口の登山道の見落とし 	実施日	平成22年8月20日	備考
		天候	晴れ	
7	猪苗代お馬返しの登山道の見落とし 	実施日	平成22年8月20日	備考
		天候	晴れ	
		内容	左への登山道の標識はあるものの、見落としとして直進してしまう登山者が何組かあった	